

Ⅱ 結果の要約

1. 平成27年10月1日現在の伊丹市人口は196,883人で、前回調査の平成22年(198,127人)に比べ756人、0.39%の増加となっている。
2. 人口を男女別にみると、男が95,641人、女が101,242人で女が5,601人多く、人口性比(女100人に対する男の数)が94.4となっており、平成22年(95.2)に比べ0.8ポイント低下している。
3. 人口を年齢別にみると、年少人口(15歳未満人口)は27,762人(全人口の14.1%)、生産年齢人口(15歳以上65歳未満人口)は121,160人(全人口の61.5%)、老年人口(65歳以上人口)は47,286人(全人口の24.0%)となっている。
これを22年の構成比と比べると、年少人口は1ポイント低下、生産年齢人口は3.3ポイント低下、老年人口は4ポイント上昇している。
4. 世帯総数は78,903世帯で、平成22年(77,263世帯)に比べ1,640世帯2.1%増加している。そのうち、一般世帯は78,843世帯で、一般の1世帯当たりの人員は、2.47人となっており、平成22年(2.5人)に比べ0.03人減少している。
5. 配偶者関係をみると、有配偶者は男が61.0%女が57.4%となっており、平成22年(男62.0%、女58.6%)に比べ男女とも低下している。
また未婚率は、男が30.9%、女が23.2%と、平成22年(男31.0%、女22.8%)に比べ、男は低下、女は上昇している。
6. 住居の状態をみると、一般世帯の持家率は62.0%で平成22年(60.6%)に比べ1.4ポイント上昇している。
7. 15歳以上人口168,446人の労働力状態をみると、労働力人口(就業者及び完全失業者)は90,854人で、平成22年(95,332人)に比べ4,478人、4.7%減少している。また、労働力率(15歳以上に占める労働力人口の割合)は53.9%で、平成22年に比べ3.4ポイント低下している。
8. 労働力人口を男女別にみると、男は2,651人、女は38,203人で、平成22年に比べ、男は7.8%、女も0.1%減少している。
また、労働力率(15歳以上人口に占める労働力人口の割合)は男65.0%、女43.7%で、平成22年(男70.9%、女44.6%)に比べ、男は5.9ポイント低下、女も0.9ポイント低下している。
9. 就業者数は、86,507人で平成22年(89,210人)に比べ2,703人、9.7%減少している。男女別にみると、男は49,793人、女は36,714人で、平成22年(男53,086人、女36,124人)に比べ男は9.4%減少、女は1.6%増加している。
また65歳以上の就業者数は、8,804人(就業者の10.1%)で平成22年(7,125人)に比べ23.6%増加している。
10. 就業者数を産業大分類別にみると、製造業が16,037人(就業者の18.5%)、卸売・小売業が13,753人(同15.9%)、医療・福祉が10,119人(同11.7%)、建設業が5,739人(同6.6%)、運輸業等が4,834人(同5.6%)サービス業が5,608人(同6.5%)などとなっている。